

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	鉄道利用促進及び広域観光推進事業
事業主体 (連絡先)	篠ノ井線松本地域活性化協議会 事務局 安曇野市政策経営課 TEL: 0263-71-2401
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,680,800円 (うち支援金: 1,323,000円)

事業内容

時期: 令和4年11月1日～令和4年12月25日
 場所: 篠ノ井線各駅(塩尻駅・広丘駅・村井駅・松本駅・田沢駅・明科駅・坂北駅・聖高原駅)、構成団体域内の観光スポット、店舗など、計32箇所
 参加者: 192人、スタンプ総取得数686回
 内容: 参加自治体(8自治体)の鉄道駅(JR篠ノ井線)や観光スポットにスタンプ(QRコード)を記載したポスター等を設置し、スマートホンから専用サイトへアクセスしてスタンプを集めた。



【スタンプ設置ポイント】

【目標・ねらい】

- ①公共交通(鉄道)の利用促進
- ②松本広域圏の観光振興

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

スタンプラリー参加者に対してアンケート調査を実施し、その集計結果を事業効果の指標とした。

- ・「今後、積極的に公共交通(鉄道)を利用したい」
 - 目標値 10% → 結果 19.2%
- ・「構成団体(市村)の特色や魅力を新しく発見することができた」
 - 目標値 20% → 結果 80.8%
- ・実施事業に対する満足度 「満足、やや満足など肯定的な評価」
 - 目標値 50% → 結果 96.2%

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度の取り組みは、鉄道利用促進と広域観光振興に寄与し、参加者の満足度も高い結果となった。こうした取り組みは、単年事業ではなく継続して行うことでより認知され効果が出てくるものとする。

次年度以降も沿線住民や来訪者が参加したくなるような仕掛けを持たせたキャンペーンを行う。実施にあたっては、より鉄道利用を促進する内容にしていく必要があることから、具体的な方法について検討していきたい。

※自己評価【A】

【理由】
 キャンペーンに参加したのは200人弱だったが、事業評価の指標については想定を上回る結果となった。当初の目標・ねらいに寄与する取り組みであったと考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある